

平成19年度

追 跡 評 価 結 果

平成19年9月

広島県研究開発評価委員会

目 次

1 評価対象及び評価基準	1
（1）評価の対象	1
（2）評価基準	1
2 評価結果	3
（1）評価結果一覧	3
（2）評価委員会意見	5
課題別追跡評価結果	7
【参考資料】	
1 広島県研究開発評価委員会設置要綱	1 5 7
2 経緯	1 5 8

1 評価対象及び評価基準

県立総合技術研究所の研究課題について、「広島県研究課題評価マニュアル」に基づき追跡評価を実施し、その結果を取りまとめた。

追跡評価は、終了後一定期間が経過した課題について、研究成果の活用状況や波及効果等に関する評価を行い、研究成果が及ぼす社会・経済等への効果を把握し、県民に対する説明責任を果たすとともに、研究開発の企画・立案機能の強化、成果移転の効果的な推進に資することを目的として実施するものである。

追跡評価は、「1）研究の達成度」「2）成果移転の目標達成度」「3）知的財産権の活用状況」「4）研究成果の波及効果」の4項目の視点に立つて行う。

評価結果は、今後の県の研究開発事業に関する政策あるいは方針を策定する際の資料となる。

(1) 評価の対象

15年度に終了した研究課題（研究終了後3年を経過した課題） 41課題

(2) 評価基準

(ア) 個別評価基準（総合技術研究所による評価）

研究の達成度

- A：成果は移転できるレベルにある。
- B：一部の成果は移転できるレベルにある。
- C：成果は移転できるレベルではない。

成果移転の目標達成度

- | | |
|---------------------|------------------|
| A：目標以上に達成 | 達成度 120%以上 |
| B：ほぼ目標どおり達成 | 達成度 70%以上～120%未満 |
| C：移転は行ったが、目標を下回っている | 達成度 20%以上～70%未満 |
| D：移転は進んでいない | 達成度 20%未満 |

知的財産権の活用状況

- A：実施許諾し、事業化されている。
- B：実施許諾を行っている。
- C：実施許諾は行っていない。

研究成果の波及効果

- | | | |
|--------------------------|--------|------|
| A：波及効果は大きい（効果は十分ある） | 研究予算総額 | 波及効果 |
| B：波及効果は認められる（効果は認められる） | 研究予算総額 | 波及効果 |
| C：波及効果はほとんど認められない（効果は薄い） | 研究予算総額 | 波及効果 |

(イ) 総合判定基準

個別評価結果の適切性を含め、評価委員会として、総合評価を実施した。

区分	内容
S	研究成果が十分に活用され、効果は当初見込みを上回っていると認められる。
A	研究成果が活用され、効果は当初見込みをやや上回っていると認められる。
B	研究成果が活用され、効果は当初見込みどおりであると認められる。
C	研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みをやや下回っていると認められる。
D	研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みを下回ると認められる。

2 評価結果
 (1) 評価結果一覧

表2 - 1 評価結果一覧(課題番号順)

番号	研究課題名	センター名	個別評価				総合評価結果
			研究の達成度	成果移転の目標達成度	知的財産権の活用状況	研究成果の波及効果	
1	沿岸域の窒素浄化機能に関する研究	保健環境センター	B	B	C	C	C
2	湖沼における藻類の発生予測に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
3	遺伝子学的手法を用いたエンテロウイルスの検出・同定に関する研究	保健環境センター	A	A	C	A	S
4	PRTR対策に係るリスク評価の支援に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
5	清酒製造試験	食品工業技術センター	A	A	C	A	S
6	ヒロシマナ漬の利用拡大技術の開発	食品工業技術センター	B	B	C	B	B
7	ミクロバブル超臨界二酸化炭素法による機能性成分の抽出及び酵素失活技術の開発	食品工業技術センター	B	C	C	B	C
8	センサによる匂い識別技術の開発	食品工業技術センター	A	B	C	A	A
9	圧力利用によるタンパク系素材の酵素分解技術の開発	食品工業技術センター	A	A	A	A	S
10	バイオテクノロジーを利用した味噌の効率的生産技術の開発	食品工業技術センター	A	C	C	C	C
11	酵母による食用廃油からの糖脂質生産技術の開発	食品工業技術センター	B	C	C	C	C
12	ライト設計システムの開発	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
13	エージントによる生産支援技術の開発	西部工業技術センター	B	B	C	C	C
14	ポリプロピレンをベースとした廃プラスチックのマテリアルリサイクル技術の開発	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
15	軽金属(マグネシウム, アルミニウム)合金の高機能部材化技術の研究	西部工業技術センター	A	B	C	A	A
16	光触媒を利用した環境浄化技術の開発	西部工業技術センター	B	B	C	C	C
17	レーザー溶接によるテラードプランク材のプレス製品への適用に関する研究	西部工業技術センター	B	B	C	B	B
18	高性能水素吸蔵物質とその利用技術の研究	西部工業技術センター	B	B	C	C	C
19	高速高精度加工技術に関する研究	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
20	多重磁極マグネトロンスパック装置の研究開発	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
21	音・電磁波防止対策に関する研究	西部工業技術センター	B	B	C	B	B
22	人間生活工学による高齢者対応住宅設備の開発	西部工業技術センター	A	A	C	A	S
23	面発光標識の遠隔制御技術の開発	西部工業技術センター	A	A	C	A	S
24	ウォータージェット加工機による利用技術開発	東部工業技術センター	B	B	C	C	C
25	介護衣料製品の評価・設計システムの開発	東部工業技術センター	B	B	A	A	A
26	綿/ポリエステル混紡糸のバット染料染色技術の開発	東部工業技術センター	A	C	C	B	C
27	フラン自硬性鋳型表面への転移塗型技術の研究	東部工業技術センター	B	D	C	C	D
28	イネ白葉枯病抵抗性遺伝子の探索・単離と利用に関する研究	農業技術センター	B	C	C	C	C
29	多様な気象資源を活用した宿根性花きのリレー出荷型体系の確立	農業技術センター	A	B	C	A	A
30	国際化に対する低コスト切花生産技術の確立	農業技術センター	B	C	C	B	C
31	土地利用型畑作物定着化のための麦・大豆の品種選定と栽培安定化技術の確立	農業技術センター	B	B	C	C	C
32	広島牛の成長タイプ別肥育技術開発	畜産技術センター	B	C	C	B	C
33	飼料イネサイレージの調整・給与技術開発	畜産技術センター	A	B	B	A	A
34	クローン技術による種畜検定システムの検討	畜産技術センター	A	A	C	C	B
35	食品製造副産物の低・未利用資源の飼料利用	農業技術センター	B	D	C	C	D
36	店舗で残ったパンの効率的回収と利用技術の開発	畜産技術センター	B	D	C	C	D
37	広島かき生産改善技術開発事業[広島かき緊急対策事業]	水産海洋技術センター	A	B	C	B	B
38	栽培漁業新魚種導入事業	水産海洋技術センター	A	B	C	B	B
39	河川漁場生息実態調査	水産海洋技術センター	A	B	C	B	B
40	水源涵養機能を向上させる森林整備技術確立	林業技術センター	B	B	C	A	B
41	スギ材の材面改良による内装部材化開発	林業技術センター	A	B	A	C	B

表 2 - 2 評価結果一覧（総合評価区分別）

番号	研究課題名	研究機関	個別評価				総合評価結果
			研究の達成度	成果移転の目標達成度	知的財産権の活用状況	研究成果の波及効果	
9	圧力利用によるタンパク系素材の酵素分解技術の開発	食品工業技術センター	A	A	A	A	S
3	遺伝子学的手法を用いたエンテロウイルスの検出・同定に関する研究	保健環境センター	A	A	C	A	S
5	清酒製造試験	食品工業技術センター	A	A	C	A	S
22	人間生活工学による高齢者対応住宅設備の開発	西部工業技術センター	A	A	C	A	S
23	面発光標識の遠隔制御技術の開発	西部工業技術センター	A	A	C	A	S
25	介護衣料製品の評価・設計システムの開発	東部工業技術センター	B	B	A	A	A
33	飼料イネサイレージの調整・給与技術開発	畜産技術センター	A	B	B	A	A
8	センサによる匂い識別技術の開発	食品工業技術センター	A	B	C	A	A
15	軽金属(マグネシウム, アルミニウム)合金の高機能部材化技術の研究	西部工業技術センター	A	B	C	A	A
29	多様な気象資源を活用した宿根性花きのリレー出荷型体系の確立	農業技術センター	A	B	C	A	A
40	水源涵養機能を向上させる森林整備技術確立	林業技術センター	B	B	C	A	B
2	湖沼における藻類の発生予測に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
4	PRTR対策に係るリスク評価の支援に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
12	ライト設計システムの開発	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
14	ポリプロピレンをベースとした廃プラスチックのマテリアルリサイクル技術の開発	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
19	高速高精度加工技術に関する研究	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
20	多重磁極マグネトロンスパッタ装置の研究開発	西部工業技術センター	A	B	C	B	B
37	広島かき生産改善技術開発事業[広島かき緊急対策事業]	水産海洋技術センター	A	B	C	B	B
38	栽培漁業新魚種導入事業	水産海洋技術センター	A	B	C	B	B
39	河川漁場生息実態調査	水産海洋技術センター	A	B	C	B	B
6	ヒロシマナ漬の利用拡大技術の開発	食品工業技術センター	B	B	C	B	B
17	レーザー溶接によるテラード blanks 材のプレス製品への適用に関する研究	西部工業技術センター	B	B	C	B	B
21	音・電磁波防止対策に関する研究	西部工業技術センター	B	B	C	B	B
34	クローン技術による種畜検定システムの検討	畜産技術センター	A	A	C	C	B
41	スギ材の材面改良による内装部材化開発	林業技術センター	A	B	A	C	B
26	綿/ポリエステル混紡糸のバット染料染色技術の開発	東部工業技術センター	A	C	C	B	C
7	マイクロバブル超臨界二酸化炭素法による機能性成分の抽出及び酵素失活技術の開発	食品工業技術センター	B	C	C	B	C
30	国際化に対する低コスト切花生産技術の確立	農業技術センター	B	C	C	B	C
32	広島牛の成長タイプ別肥育技術開発	畜産技術センター	B	C	C	B	C
1	沿岸域の窒素浄化機能に関する研究	保健環境センター	B	B	C	C	C
13	エーゼントによる生産支援技術の開発	西部工業技術センター	B	B	C	C	C
16	光触媒を利用した環境浄化技術の開発	西部工業技術センター	B	B	C	C	C
18	高性能水素吸蔵物質とその利用技術の研究	西部工業技術センター	B	B	C	C	C
24	ウォータージェット加工機による利用技術開発	東部工業技術センター	B	B	C	C	C
31	土地利用型畑作物定着のための麦・大豆の品種選定と栽培安定化技術の確立	農業技術センター	B	B	C	C	C
10	バイオテクノロジーを利用した味噌の効率的生産技術の開発	食品工業技術センター	A	C	C	C	C
11	酵母による食用廃油からの糖脂質生産技術の開発	食品工業技術センター	B	C	C	C	C
28	イネ白葉枯病抵抗性遺伝子の探索・単離と利用に関する研究	農業技術センター	B	C	C	C	C
27	フラン自硬性鋳型表面への転移塗型技術の研究	東部工業技術センター	B	D	C	C	D
35	食品製造副産物の低・未利用資源の飼料利用	畜産技術センター	B	D	C	C	D
36	店舗で残ったパンの効率的回収と利用技術の開発	畜産技術センター	B	D	C	C	D

2 (2) 評価委員会意見

1) 総合評価方法について

総合評価に当たっては、4項目の個別評価結果を基に総合的に判定した。なお、知的財産権の活用状況については、課題実施当時は知的財産の取得を大きな目標としていなかったことから、実施許諾がないことのみをもって低い評価にならないよう配慮した。

2) 結果概要について

評価を行った41課題のうち、標準であるB評価(研究成果が活用され、効果は当初見込みどおりであると認められる課題。)以上の課題は25課題であり、全体の約6割(18年度も約6割)であった。知的財産権が企業の製品化に活用されるなど大きな事業効果が認められる課題もあることから、これらの成果について、今後さらに移転が行われるよう積極的に対応されたい。

研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みをやや下回っていると認められるC評価以下の研究課題が16課題あった。今回評価を行った課題は、研究課題の外部評価を導入する前に開始された課題であることもその一因と考えられるが、その原因を十分解析し、今後の研究開発の企画立案や、必要に応じ現在実施中の課題の修正に活用するなど、よりよい研究となるよう努められたい。

3) 今後の対応

追跡評価は今年度から本格的に実施したが、研究成果の県民への説明責任だけでなく、研究開発マネジメントの改善や研究課題の企画立案能力の向上等に有効である。ただし、評価点が低くなることを意識するあまり、研究目標の設定を低くするなど研究者の創造性と研究意欲を損なうことのないよう留意していただきたい。

また、今後、知的財産の許諾等、今後大きな移転成果が見込める可能性がある研究課題については、更なる追跡評価を実施されたい。

